

香川県・東京藝術大学連携事業 「瀬戸内海分校プロジェクト」展開催



令和4年12月16日~25日、香川大学が特別協力している香川県・東京藝術大学連携事業「瀬戸内海分校プロジェクト」海は人を受する「さと→うみ」展が開催されました。展示会場である三木町池戸公民館でのオープニングセレモニーでは、海に面していない三木町で「里から海へ海から里へ」想いをめぐらせました。香川大学で共同研究が進められている「窓」を使用したアート作品や、香川大学で開催したワークショップで制作された作品も展示し、話題となりました。



池田香川県知事が希少糖関係施設 視察、意見交換のため農学部を訪問



令和4年11月30日、池田豊人香川県知事が、希少糖関係施設の視察と意見交換のため農学部を訪問されました。希少糖生産ステーションで、製造過程の説明を聞き、学生や地元企業の研究者が研究活動を行っている様子を視察。「希少糖研究発祥の地」のモニュメント前で説明を受けられ、その後の意見交換も活発に行われました。



「香川と都市圏の大学連携推進事業 かがわBridgeプロジェクト」を開催



令和5年1月17日に表題のシンポジウムを香川大学イノベーションデザイン研究所で開催しました。「明日の日本をデザインする人財の育成」をテーマに、協定大学(芝浦工業大学・津田塾大学・東京農業大学)各学長、香川県知事、香川県教育委員会教育長、自治体・県内企業の皆様方を招待し、地域の課題解決や活性化に向けた様々な人財育成事業の今後の発展について議論しました。



香川大学から保護者の皆様へ

OLIVE 通信

Vol.10
2023.4



香川大学長 寛 善行

保護者の皆様に香川大学の今、そして未来をお伝えするため「OLIVE通信」を創刊して4年半が経ちました。年2回刊行しており、今回がちょうど10回目となります。Vol.1以来となりますが、久しぶりに学長として寄稿させていただきます。

最近の3年間は新型コロナウイルス感染拡大のため、大学も学生たちも様々な困難に直面しました。学生たちが充実したキャンパスライフを継続できるように、大学の持つICT技術をフルに活用し、感染回避と高い学修成果の両立に教職員一同が注力してまいりました。おかげさまで、感染拡大期にも学修成果を落とすことなく、むしろオンデマンド型授業では繰り返し視聴できるメリットが生かされ学修効果が向上しているものもありました。とはいえ学生同士の触れ合い、教員との交流は大学生活には欠かせないものです。香川大学では学外での課題解決型授業や大学祭、サークル活動などを、感染対策を講じつつ可能な限り実施してまいりました。全国大会などでの優秀な成績や種々のコンテストでの受賞など学生達の活躍は目覚ましいものがありました。これらを可能にした背景には、学外からの多くのご支援がありました。緊急学生支援金への多額のご寄付はもとより、近隣の農家様やJA香川様などからの

野菜や果物、食糧のご支援がどれほど学生たちを勇気づけていただいたか計り知れません。改めて大学関係者を代表して感謝を申し上げます。

さて、香川大学ではDRI教育と名付けております3本柱を基盤に据えて、これからの日本や世界を背負う若者に必須と考えられる3能力をバランスよく涵養しております。DRIのDはデザイン思考の略で、人間を中心に据えたイノベーション創出の手法を教えております。Rはリスクマネジメントの略で、様々なリスクを予見し対策を立て、さらに発生した危機にはしなやかに対処できる能力を育成します。昨今のデジタル化の進展は顕著で、日本では特にAI・IT人材の不足が深刻になっております。DRIのIはインフォマティクスの略で、数理・情報・データサイエンスの基盤的能力の涵養を行っています。デザイン思考によるイノベーション創出にはリスク管理は必須で表と裏の関係にあり、さらに両者を支える根底にはインフォマティクス能力が欠かせません。AIやロボットが人間の仕事の多くを肩代わりしてくれる未来がすぐそこに来ています。人間は人間にしかできない能力に磨きをかける必要があります。想定外の問題が待ち受ける中で遅く、しなやかに、かつ論理的思考を駆使して日本や世界を支えリードしていつてくれる若者たちを育てていきたいと思ひます。皆様からの熱いご支援を引き続き宜しくお願いいたします。

ご受賞おめでとうございます



全国都道府県対抗eスポーツ選手権で農学部生が日本一

令和4年10月15日、16日に日環アリーナ栃木(栃木県宇都宮市)で開催された「全国都道府県対抗eスポーツ選手権2022 TOCHIGI」シャドウバース学生の部、決勝トーナメントで、香川県代表のあおどり選手こと、農学部4年生の松本康生さんが日本一になりました。



造形・メディアデザインコースの学生たちによる受賞報告会

令和4年9月から12月にかけて学生たちの受賞が相次ぎ、1月11日研究交流棟にて、学長への報告会が行われ、それぞれの作品を紹介しました。

- 🏆「グッドデザイン・ニューホープ賞」優秀賞 松岡美実さん(既卒)、入賞 川上吉平さん
- 🏆「日本パッケージデザイン学生賞2022」金賞・フジシール財団賞 石井友規さん、フミ・ササダ賞 伊勢田乃愛さん
- 🏆「令和4年度 学生ビジネスプランコンテスト」アイデア賞 日比野暖加さん、片桐信也さん、寺坂高起さん
- 🏆「かごしまデザインアワード2022」奨励賞 濱岡未来さん
- 🏆「SHIMANO 第5回「ソーシャル×散歩」企画コンテスト」特別賞 入屋早紀さん、中元桃加さん
- 🏆「第13回 OSCAソフトウェアコンテスト」特別賞 奥野唯織さん、新田宗史さん、横田一晟さん
- 🏆「第1回香川県青年版国民栄誉賞」三谷なずなさん
- 🏆「第57回 全国漆器展 産業工芸品部門」奨励賞 小林直矢さん、竹原晶さん、福井百花さん、和田ヒヨリさん



香川大学支援基金

●ご支援いただいた方は税制上優遇措置が受けられます

ご寄附の方法が選べます

- クレジットカードや振込用紙など寄附方法をお選びいただけます。ご利用いただけるクレジットカードの種類は支援基金のホームページをご覧ください。

香川大学から感謝を込めて

- ご寄附いただいた方全員 ご了承を得て、ご芳名を大学ホームページ等に掲載いたします。
- 個人10万円以上、法人・団体30万円以上寄附された方 感謝状と記念品の贈呈/銘板による顕彰(ご芳名の銘板を学内に掲示し、未永く顕彰いたします。)

詳しくは、香川大学支援基金ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/kikin/>

